

# 西脇市立西脇病院

## 整形外科

### 指導担当医（役職）

大内 聖士（主任部長） 伊藤 淳（部長） 深澤 高広（部長）

### 実習概要

#### 実習コース

2週間コース

#### 概要

整形外科の医療スタッフの一員、student doctorとして診療チームに参加します。1-2名の入院患者症例を受け持ち、カンファレンスではプレゼンテーションを行い、手術患者の場合には手術助手として参加します。多い症例としては、高齢者の大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折、脊椎椎体骨折が挙げられます。また外来診察では一般整形外科疾患の診察の見学や実施、救急外来では救急搬入患者への対応の見学をします。

また当院は独自の『大腿骨近位部骨折患者の集学的管理プログラム』を作成し、早期手術の実施、術後合併症の減少、より良い機能回復などを目標に取り組んでいますので、その一員として多職種連携などを経験します。

#### 実習スケジュール

1. 受け持ち症例の日々の医療面接、身体診察や診療記録を行い、検査や手術の助手を担う。
2. 入院患者カンファレンス
3. 術前カンファレンス
4. 外来診察の見学：医療面接・診察の経験
5. 救急外来の見学
6. 手術の助手や見学
7. 検査（脊髄造影・神経根造影）や透視下ブロックなど）の見学

## 学生へのメッセージ

### 整形外科とは

運動器官を構成するすべての組織、つまり骨、軟骨、筋、靭帯、神経などの疾病・外傷を対象とし、その対象は脊椎（脊柱）・脊髄、骨盤、上肢（肩、肘、手、手指）、下肢（股、膝、足、足指）など広範囲に及びます。また新生児、小児、学童から成人、高齢者まで全ての年齢層が対象になり、その内容は多様で治療の必要な患者数が極めて多いのが整形外科の特徴です。

### 当院整形外科では

高齢化率約35%と高齢者の多い地域にあるため、高齢者の外傷疾患の症例を多く経験することができます。その中でも多い疾患としては、骨粗鬆症に起因する大腿骨近位部骨折、橈骨遠位端骨折、脊椎椎体骨折が挙げられます。

また市立西脇病院では、高齢者の大腿骨近位部骨折患者に対しては、独自の『大腿骨近位部骨折患者の集学的管理プログラム』を作成し2017年秋から運用しています。それにより病院搬入時から、病院全体の多職種が連携し、早期手術の実施、術後合併症の減少、より良い機能回復などを目標に取り組んでいますので、その一員として多職種連携などを経験することができます。

整形外科医師を目指していたり、その診療に少しでも興味を持ったりしている方、西脇の整形外科の実習にお越しくください。